



令和3年7月27日

垂井町立宮代こども園

地域の人から使わない雨どいと塩ビ管をいただきました。子どもたちは、「これ何に使うの?」と何回も触ったりのぞいたりしていました。その中の一人が、「これでトンネル作ったらいいかも!」と言うと、「いいね、やろう!」と砂場に向かいました。穴を掘ったり、雨どいをつなげたりしてみますが、途中で水が漏れたり、穴が崩れたりしてなかなかうまくいきません。それでも子どもたちは、知恵を出し合い、力を合わせてどうしたらうまく水が流れるのかを考えながら遊びを進めていました。『失敗は成功のもと』という言葉は、今の子どもたちにぴったりです。

どろんこ遊び



そっちを持って



水、持ってきたよ



道が出来てきたね



どうしたら水がこぼれないかな



茅の輪くぐり

暑い夏を元気に過ごせるよう、お参りました



初めて見たね



先生が見本を見せるよ



上手にまたげるよ



聖火のトーチを見たよ



トーチを持ったよ



東京オリンピックの聖火ランナーを務めた垂井町在住の多賀さんが、聖火リレーで使用したトーチを見せてくださいました。初めて見るトーチや、初めて聞く聖火リレーの話に、子どもたちは興味津々でした。5歳児は、一人ずつトーチを持たせてもらい、ピカピカのトーチにドキドキしながら、どの子も嬉しそうでした。1～4歳児は給食中でしたが、多賀さんが各クラスをまわってくださりトーチを見せてもらいました。